

信州大学医学部に献体することに同意して頂いた御遺族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

平成 28 年 7 月 6 日

「献体を用いた爪甲変形と爪床の関係」に関する臨床研究(後ろ向き観察研究)を実施しております。

信州大学医学部医倫理審査委員会の審査による医学部長の承認を得て、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	
課題名	献体を用いた爪甲変形と爪床の関係の検討
研究機関	信州大学医学部
研究責任者	信州大学医学部(形成再建外科学教室、高清水一慶)
研究実施期間	倫理委員会承認日～平成 33 年 3 月 31 日
研究の意義、目的	爪甲変形と爪床の関係を解析し、爪甲変形に対する新規治療法開発に役立てていく。
対象患者様	平成 28 年度から平成 30 年度の期間に信州大学医学部医学科の解剖実習授業に供した御遺体。
利用検体	対象臓器:爪甲変形を有する第 1 趾
利用カルテ情報	死亡時年齢、性別、死因
その他	

既存の検体を研究、調査します。

当院外へお名前や個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌で発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究に御遺体を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、下記のお問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

上記の研究期間中であれば、いつでもお断りいただけます。

お問い合わせ先:信州大学医学部附属病院

担当者 形成再建外科学教室 高清水一慶 (電話:医局 37-2833)